

第4回浅川町公共施設最適化委員会 議事録

日 時 令和8年3月24日(火) 午後1時30分～午後3時00分

場 所 浅川町役場 大会議室

No.	所 属	役 職	氏 名	出欠
1	総務省地方公営企業経営アドバイザー 青森県むつ市参与		遠藤 誠作	
2	(一財) ふくしま建築住宅センター	理事(兼) 本部事業 担当部長	川音 真悦	
3	浅川町議会	総務経済常任委員会 委員長	富永 勉	
4	浅川町議会	文教厚生常任委員会 委員長	兼子 長一	
5	浅川町民生委員・児童委員	会長	深谷 公生	欠席
6	浅川町監査委員	代表	岡部 まゆみ	
7	浅川町商工会	会長	小宅 善一	
8	浅川町消防団	団長	岡田 辰夫	
9	浅川町連合PTA	会長	関根 裕一	
10	浅川町教育委員会	職務代理者	岡田 淳一	
11	JA 夢みなみ浅川支店	支店長	近藤 強	欠席
12	浅川町長寿会連合会	会長	内田 勝雄	欠席
13	浅川町婦人会	会長	我妻 勝子	
14	浅川町区長会	会長	緑川 孝雄	欠席
15	女性団体連絡協議会	会長	本多 民枝	
16	吉田富三記念館	事務員	関根 喜代子	

事務局

1	浅川町	町長	江田 文男
2	浅川町	副町長	加藤 守
3	浅川町	教育長	真田 秀男
4	浅川町	総務課 課長	生田目 源寿
5	浅川町	総務課 課長補佐	小野 修司
6	浅川町	総務課 主査	白川 祐太

## 議 事 録

総務課長：ただいまより、第4回公共施設最適化委員会を始めさせていただきます。本日はお手元に資料が2つございます。次第の1ページ目、本日の名簿がございます。5番民生委員の深谷会長さん、11番JAの近藤支店長さん、12番長寿会の内田会長さん、14番町区長会の緑川会長さん、4人の方が欠席となっておりますので、よろしく願いいたします。それではまず初めに、町長よりご挨拶いただきます。

町長：はい、皆さん改めてこんにちは。皆さんにおかれましては、何かとお忙しい中、第4回公共施設最適化委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。町としましては最終結論を出したいと思っております。また、町議会でも町の方針を述べさせていただきましたが、結論から申し上げますが、皆様のご理解をいただけるよう進めていきたいと思っております。また、新年度予算が3月の定例議会で満場一致をいただき、4月から新しい年度が始まります。今後とも皆様方にはご支援ご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

総務課長：はい、ありがとうございます。それでは次第の3番の資料の説明に入らせていただきます。町長から申しましたとおり、今年度4回委員会を開かせていただきました。そのおさらいも含めて担当の小野課長補佐より説明をいたします。座長を町長にお願いいたします。

町長：はい、では資料の説明を担当課よりさせていただきます。

小野：はい、総務課課長補佐小野より説明させていただきます。本日も議事録作成のため録音させていただきますのでご了承願います。

私の説明ですが、案と書いてある資料をもとに説明させていただきます。はじめにですが、浅川町には40年以上経過し老朽化した公共施設が数多くあります。全国的にも老朽化した公共施設は問題があるということで、国からの指示を受けて浅川町公共施設等総合管理計画というものを作っております。その後、個別の計画として、浅川町公共施設長寿命化計画、浅川町学校施設長寿命化計画というものを作っておりますが、本計画、浅川町公共施設最適化計画につきましては、今後十年間の公共施設の更新計画をより具体的にするために作成しました。この計画の位置づけとしましては、最初に浅川町振興計画というものがございます。その後続く計画として浅川町公共施設等総合管理計画、そして個別の計画がありまして、その次に浅川町公共施設最適化計画、本計画となっております。

そして2ページ目以降ですが、過去の委員会での資料をそのまま使っております。浅川町の情勢ということで、浅川町の人口は減少傾向が続いており、将来も引き続き人口が減少いたします。令和32年には3,376人くらいになるだろうと推計されております。次に浅川町の財政状況ですが、突出して多くなる年度がございます。歳入歳出の予算が増えた時期としましては、平成28年度から平成29年度の民生費の増加はこども園の建設、令和5年度から令和6年度の教育費の増加は中学校建設のために増加しております。令和2

年度の総務費の増加は新型コロナウイルス関係の事業で予算が増えているような状況でございます。

4 ページ目で、性質別歳出の推移ということで、歳出予算が主にどのようなものに使っているかを表しているものでございます。突出して多くなるのは令和2年度で非常勤職員等が会計年度任用職員に切り替わりまして、給与体系が見直されたことによって人件費が増加しているものと、先ほど説明しました新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は突出して増えております。

5 ページ目が、浅川町の決算に基づく財政健全化判断比率、というものがございます。実質公債費比率、将来負担比率というものがございますが、令和6年度までの推移を掲載させていただきました。中段下にあります基金の状況としまして、公共施設の更新等に使用できる町の貯金の推移を掲載しました。

6 ページ目以降ですが、浅川町の公共施設にどのような施設があるのかを載せさせていただきました。こちらは9ページまで続いております。こちらが現在浅川町にある公共施設の一覧でございます。

10 ページ目です。ここからが本題に移るのですが、早期に更新する公共施設についてでございます。浅川町には築40年を経過した公共施設が数多くありますが、その中でも浅川小学校、役場庁舎、中央公民館は、利用者も多く重要性が高い施設になりますが、役場、公民館は耐震性に問題をかかえており、大きな地震があった際には倒壊する可能性があるため耐震診断で報告を受けておりますので、こちらの施設につきまして最優先で施設更新を検討することとしました。

次に11ページ目が、更新する公共施設の方針についてです。浅川小学校ですが、人口減少により児童生徒数が将来的に各学年1クラスになってしまい、児童生徒間の交流が不足することが予測されておりますが、小学校が中学校の同一敷地内にあることによって児童生徒間で幅広い人間関係を築くことができますし、日常的に異学年交流ができ、教員同士の密接な連携も図れることもありまして、教育上のメリットが多数あるということで、浅川町の将来にとって理想的な教育環境を議論したのちに中学校の同一敷地内に小学校を新築更新することを判断させていただきました。

次に、役場庁舎、中央公民館です。どちらも耐震診断の結果、倒壊の恐れがあるということで判定を受けておりますので、小学校移転後の敷地及び校舎の利活用を含め今後議論を深めたいと思っておりますが現段階での校舎再利用案、校舎跡地再利用案を掲載しました。

次12ページ目、浅川中学校と浅川小学校の最新の航空写真となっております。上段の中学校につきましては、旧校舎を現在解体中で、来年度解体が終了することになっております。浅川小学校につきましては現状このような形になっております。

13 ページ目ですが、更新する公共施設に掛かる費用の見込みについてですが、浅川小学校につきましては、新築ということで校舎のみを想定しておりまして12.7億円。複合施設は校舎の再利用案ということで費用見込みは11億円ということで掲載しております。あくまで現段階で想定した費用となっておりますので、物価高騰、施設の規模・仕様によっては大きく変動するものと思われまして、ご了承願います。

次に、財政状況を踏まえた整備計画ですが、多額の費用が掛かる施設の更新が、町の財政にどのような影響を与えるかシミュレーションを実施するため、計画年度を策定しまし

た。来年度から基本構想、基本設計を行いまして、小学校は令和 12 年度に竣工予定。複合施設につきましては、校舎再利用案ですが令和 14 年度には竣工し使用開始というスケジュールを組ませていただきました。

この想定スケジュールと費用見込みを使用しシミュレーションを行いました。シミュレーションで設定した主な内容ですが、こちらに書いてあるとおりの例年 35 億円規模の予算額としまして、建設事業等は例年実施している金額を想定しました。現在実施している中学校解体事業など、これから必要となる各種分担金等は分かる範囲でシミュレーションに落とし込んであります。そして更新費用は物価高騰、金利上昇等はシミュレーションには反映させておりません。財政調整基金については、4 億 9,000 万円程度は保有するというようにしております。事業実施のために最低限見込まれる地方債の借り入れ、道路のインフラ整備等で毎年国等から借り入れをしているのですが、平均して 1 億 3,000 万円の借り入れを想定してございまして、その償還額については毎年 3 億円程度を想定してございます。施設更新に掛かる費用については、設計と工事費用のみ想定してございまして、施設移転後の環境整備、小学校中学校が一緒になることでの共有スペース等の環境整備も必要となることや、施設更新後不要になった施設の解体費用は含まれておりません。

実質公債費比率につきましては、借金の返済額が収入に対してどれくらいの割合になるのか指標になるということで、令和 23 年度までシミュレーションを実施しております。オレンジのラインが校舎再利用案を想定した値になりまして、青いラインが施設更新を実施しなかった場合の実質公債費比率となっております。

財政シミュレーションの分析についてですが、予算編成時、どうしても毎年歳出がかなり多くなりますので、ある程度は財政調整基金取り崩して歳入歳出予算を調整することになると思います。

実質公債費比率につきましても、借入額がかなり大きくなりますので、令和 14 年度に事業は終了しますが、令和 18 年度まで高い値になります。現在の値まで下がるには 10 年くらいかかると思われまます。

先ほどから説明したとおり、あくまでも施設の建築費用しか見ておりませんので、施設の構想、物価高騰の影響などにより、費用は大きく変動する可能性があります。

小学校跡地に移転すれば、駐車場の整備、周辺道路の整備などかなり費用が掛かるため今後はそういう内容をより深く調査していくことになると思います。

財政の見通しについてですが、将来、施設更新を実施する時期に現在利用できる補助金や有利な起債事業があるかどうか分からないため、すべて町単独予算で施設更新を実施することを想定しました。このため、施設更新を実施する時は、町の財政負担を極力軽減できるように、よく調査したうえで事業の実施が求められますので、現時点で施設更新に利用できる補助事業や起債事業をまとめました。

国の補助事業としては、新築建築物、既存建築物の ZEB 化普及促進支援事業というものがああり、省エネ・創エネに対応する施設の築や改修に利用できます。

次に起債事業ですが、国からお金を借り入れて、その後、交付税措置がされ財政負担が軽減できるものですが、学校教育施設等整備事業債、公共施設等適正管理推進事業債、市町村振興基金、緊急防災・減災事業債、脱炭素化推進事業債などがありますが、記載してあるとおりの事業年度が令和 8 年度までのものがありますので、施設建築時は利用できる事

業を調査したうえで施設更新を実施することになります。以上で説明を終わります。

町長：浅川町の公共施設は40年を経過した施設が多くあります。一番古い施設は60年以上経過しています。もし、このままお金がないからもうしばらく放っておこうという気は私にありません。これは次の世代に残すわけにはいかない問題で、誰かがやらなければならない問題です。公民館をよく利用している方は分かると思いますが雨漏りをしています。もし施設利用中に大きな災害が来たら大変なことになります。浅川町役場も昭和34年建築で、66年経過しています。公民館、役場庁舎、小学校を放っておくことはできません。町民の皆さん、議員の皆さんの力を借りて一歩でも二歩でも進まなければだめだということです。施設が更新できれば大きな災害が発生したら避難所にすることもできます。中学校は浅川町で一番新しい建物です。もしほかの避難所がだめになれば中学校が避難所になります。1カ所でも2カ所でも、耐震に強い建物があれば町民は安心することなんですよ。

そういう中で、この1年間、いろいろ検討させていただきました。委員の皆様にご協力いただき、本当に感謝を申し上げます。

委員については、一般公募すればいいなんていう質問もありましたが、このメンバーで1年間できたこと私は嬉しく思っております。令和15年には小学校は各学年一つになります。そういう中で、やはりこの小学校を中学校の敷地内に持っていくのがいいだろうと、教育委員会の皆さんのご意見もいただきながら、そういう方向にさせていただきたいと思っております。

これはあくまで今の方針ですから、皆さんに納得いただき、まず中学敷地内に小学校を持っていきたいということです。あと、公民館は利用者が多いです。今年3月15日までは確定申告相談をやっておりました。3年前、確定申告相談をやってるときに大雨が降り、天井から雨漏りをしました。私はこれを放っておくわけにはいかないと思ひまして、できれば浅川小学校を複合施設にしたいと思っております。

そういう中でもやはり、私たち執行側の意見だけでなく、皆さんや議員の意見も聞き参考にしながら、やはり複合施設がいいのではないかと提案させていただきました。

財政が良くてお金がいっぱいあれば、役場庁舎を作ってしまうればいいという意見もあります。ただ、役場単独で更新すれば、公民館とか小学校はどうするんだという意見もあります。小学校を移転させたその後、その小学校をそのまま利用するのか。あるいは解体してそこに役場を造るのかは、次の話だと思うんですよ。町としてはなるべく財政負担が少ない方法を選びたいと考えています。では、委員の方から意見を聞きたいと思ひます。

●●委員：私は提案された意見に賛成です。小学校と中学校のお子さんが同時にいらっしゃる方もいますよね。そうしたときにも、いろんなことで便利かなっていうのと、その後小学校に役場と公民館を一緒にするっていうのは一番いいことだと思います。だんだん高齢化が進んで、結局若い子がいなくなって高齢の人が増えつつありますよね。25年後に人口3000人ぐらいになっているっていうことがあるんでしょうけど、そうしますと、お年寄りの方が用事で公民館を結構長い時間利用する方もいますし、役場で用事があつたりする方もいます。そうするといっぺんにできるメリットがあると思ひますので、私はこれ

に大賛成したいと思います。

駅前はずいぶん寂しく空き家ばかりなんです。だから、小学校跡地を利用することによって、人の流れも変わって、そのためにいろいろ周りも整理していけば、ちょっときれいな町になるかなって思います。

町長：ちょっと話がそれますが、そういうことで2年前から、駅前マーケットやっていますよね。人を集める交流人口を増やす。そのためにできることをやらなければならないと思っています。●●委員さん意見ありますか。

●●委員：財政に余裕があって一緒にできれば一番いいんでしょうけども、一番心配なのは、例えば小学校を先に移転して、その後に複合施設にするのもいいんですけど、財政的に苦しくなり、そちらにもっていくと道路とかの整備も出てきますよね。そちらの予算というのは、この中には入っていないので、また財政負担が増え役場庁舎ができないという心配があります。

町長：はい、ありがとうございます。もし今言ったとおりに、役場、あるいは複合施設を造るとしても、財政の体力を残しながらの建築でありますので、今の状況では問題ないと思います。一個一個更新していったら財政体力が落ちます。ですから、今回提案したのは財政の体力を残すことを考えてやっております。

副町長：現状のシミュレーションでは、実質公債費比率が最大14.3%ですので、18%まで3.7ポイントあるわけですけれども、3.7ポイント上昇させるためには、どのくらい借金できるかですが、いろいろ計算の過程はあるかもしれませんが、皮算用でいくと、4、50億円は借りることができます。なので、例えば道路の拡張という話がありますが、道路に使用できる交付金、社会資本整備総合交付金というものがあります。そういったものを使いながら、次の手を打つというものがあるかなと思っています。

今回のシミュレーションで財政的なことは分かったので、進めていいのかなというところだと思います。そして、12月の時に説明したとおり、役場を先にやって中央公民館はどうなるのか、小学校が老朽化して行って、利用している子供たちはどうになってしまうのか、いろんな問題が出てきていて、それをオーバーホールしましょうかとなったら、それまでまた金がかかるということで、どれを使ってもお金がかかるということで、一番お金がかからない方向で、子どもたちの教育も担保しながらとなると、今の話があるかなというのが実際の状況です。

●●委員：中学校を造るときに一緒にできていたら一番良かったと思います。後、7ページの中学校の新築年度が間違っているので訂正をお願いします。

総務課長：大変申し訳ございません。7ページ中段の中学校の建築年度は、2024年でございました。

町長：今、委員さんより道路の話がありましたが、財政余力がなければ、このシミュレーションはしていません。役場を小学校に持っていけば道路整備は必要になります。インフラ整備をしながら財政余力を残すことができると思います。次、●●委員さん。どうですか。

●●委員：今回の話を聞かせていただいて、まさにこの先は読めないと思います。こういう形でシミュレーション結果が出ていますが、この年度、年度において、整備計画や新たな補助など、そういったものを利用して極力、町の財政負担を減らしながら、いいものができればと思います。

町長：小学校ですが、先にやったほうがいいですか。

●●委員：優先順位的には未来あるは子どもたちが学ぶ環境を整備するのが一番なのかなと思いますのと、難しい部分ですが私個人的には役場というのは、やはり町の中心というか拠点になると思いますので、そちらの方の整備もあわせて早期に進められればいいのかなと思います。

町長：ありがとうございます。次に●●委員さん。

●●委員：はい。今回の案に対し反対はありません。このまま、この方向で進めてほしいなと思います。子どもたちの数が減少しているので、資料にあるとおり令和15年には学年一クラスなるとありますが、教育の方は衰退させてはいけないと思います。教育の現場は、これから色々と環境が変化すると思います。小学校がどういう形の規模になるかわからないですけど、コンパクトになるとは思いますが、同じ敷地内に小学校と中学校があり、きちっとした教育の場が設けられると思っているので、ぜひこの案で行ってほしいのと、あと複合施設は、小学校が早く進まないとなかなか難しいので、スケジュールどおり早く進めばいいのかなと思うのですが、この案でぜひ、来年度から動いてもらえればと思っています。

町長：次、●●委員。

●●委員：はい、私もこの案に大賛成でございます。小学校、中学校の送迎は保護者がやっている方が多いと思うんですね。現在の小学校ですと、道幅が狭く道路が渋滞することがあると思います。あと、校舎の再利用に大賛成です。箱物となると工事費がかなりかさむのかなと。やっぱり改修の方がよりコストを下げられるのかなと。あと一刻も早く耐震基準を満たす棟数を増やしていった方が、住民のためにも安全安心になるかなと思われま。以上です。

町長：ありがとうございます。やはり小学校、将来を担う子どもたちのため、そしてまた町民が安心するためには、この公共施設を一日も早くやるのがいいのかなと思っています。

す。次、●●委員さん。

●●委員：私も皆様と変わりはないんですが、やはり学校ですね。公共施設としてまずは現在の小学校が動かないとそこには入れないので、シミュレーションとおりにはいかないまでも、中学校に小学校を移す。そこから始まって、あとはそこに複合施設が入るのが一番いいと考えております。

町長：はい、ありがとうございます。次、●●委員さん。

●●委員：小学校の複合施設は賛成です。駐車場も十分に確保できますし、賛成です。

町長：次、●●委員お願いします。

●●委員：まとめとしては、浅小移転ということ。方向性としては、それが妥当な選択だと思います。今後、町のいろんな人口の問題や、子どもの数の減少を考えれば妥当な判断かと思います。あとは、小学校移転を実現させた後の話が、私はもっと重要なかと思ひまして、前から話していますが統合するというか、複合施設という表現もありますけれども、あとは、今ある類似の施設ですよ。例えば、簗輪の共同福祉施設、それから勤労者体育センターもごさいます。そういったものは、割と建築は新しいので、公民館機能を共同福祉施設に一体化するとか、そういう考え方もあるべきかなと思います。

浅小跡地に公民館を持っていくという、そういう方向性ですけど、果たしてその他にも選択しはあるのではないかな。やっぱり今ある施設を有効に使うということのもコスト削減のあり方かなと思いますので、今後もこのような検討会をやると思うので、そういう中で一つ検討していただきたいと思います。それから役場庁舎の場所についても、以前もお話ししましたが、その歴史的な背景、以前は今の浅小のところに役場があったんですが、昭和32年頃にここに移転して、昭和34年に役場庁舎ができた。それに伴っていろんな道路とかが整備されて、周りに住宅もいっぱいできたという、その歴史的な背景を考えていただいて、果たしてその役場庁舎をまた駅の方に持っていくのがいいのかどうかというのは、私の考え方としては、それはちょっと違うんじゃないかと。やっぱり役場の位置は、この場で今後も将来20年、30年先を考えた場合に、道路の整備の問題もありますから。いろいろ話をしていますけれども、浅川小学校はアクセスの問題がありますよね、道路整備という。そういった中で、浅小移転後の建物をどうするのかっていう、それも考えながら、そういうまちづくりっていうんですかね。今後、浅川町をどうしていくかそこをもうちょっと、今後ね、話していただきたいと思います。

町長：はい。複合施設どうするんだ、簗輪の共同福祉施設、勤労者体育館どうするんだ、それはそれで協議しないといけないと思います。じゃあ、公民館はダメだから福祉施設に行きますか、勤労者体育館に行きますか、こういったのは、私は中途半端だと思います。どっちにしても公民館は壊さないといけない借地ですから。そういうのをまとめなければ、町の活性化はないと思うんですよ。ここに役場を新しく作りました。その駐車場

に。そこは借地になります。そしたら駅前はどうなりますか。今まで浅川町を支えてきた荒町、本町はどうなんですか。本当に空洞化しちゃいますよ。今、国道118号線は1日1万1,500台走ってるんですよ。そして、国道沿いのコンビニエンスストアで買い物をしており、たばこ税で6,000万の収入があります。私は、役場庁舎を元の場所に持っていけば、私はそれでもっとこの町、駅前を活性化できると思います。

線路から西側は役場もあり、いろいろ施設があります。じゃあ、駅前はどうするんですかということを経営的に考えたら、私は役場に行くのがいいだろうと思っています。これから大きな議論になると思いますが、本当に今造らなければだめだということです。ここから3、4年で結果をだして行動しなければ次があるんですよ。というのは、山白石、里白石小学校、これ利用することがなければ解体しなくてはいけない。町民体育館も解体しなくてはならないんです。その体育館をリフォームするには6億円かかるんです。

あと、歴史的な背景があったこと。昔は小学校の前に役場があったんですよ。人口がだんだん多くなった。車も多くなったという事でこちらに移転したらこちらが発展した。これは役場ができたおかげで、道路、インフラも整備ができた。だから、その役割はもう果たしたと思うんですよ。そしたらもう一度、荒町、本町が今衰退しているから役場を持っていければ、線路挟んで東と西は必ず良くなるはずですよ。この小さな浅川町は人口が減っても必ず良くなると思っております。これは大きな課題だと思っております。

●●委員：町長がおっしゃった簗輪の共同福祉とか、勤労者体育センターの利用とか、ちょっと町長と私の認識は違うと思うんですけど、だから、今ある老朽化した施設と、何十年も使える施設もあるわけですよ。類似施設、共同福祉も地方公民館も、コミュニティの場所ですよ。そういう施設が現にあるんだから、簗輪の共同福祉施設が手狭なのであれば部屋を増やしてとか、そういう利用もあるでしょうっていうのが私の考えです。そこはちょっと勘違いしないでいただきたい。そういうものをこれから先、10年20年先をどうするかを考えなければならぬ。というのが私の意見であります。

あと役場庁舎原点回帰ということで、元にあったところに戻すというのも一つの考え方で私は否定しませんが、ただ、それと一朝有事の際に役場としての拠点、その機能が満足できるのかという、そういう一番の心配もあるんですけど、今後いろんな財政面と協議しながら道路を整備するとかそういう考えでいくのであれば、それはそれで私はいいと思いますが、やっぱりそういうことも考えてほしいんで、論点を浅小移転にすると違うことになっちゃうので、やっぱりもっと将来のことを考えての最適化が必要だと思うということで、私はその意見を述べているということです。そこはご理解ください。別に私は否定していません。

町長：はい、次の委員さん。

●●委員：議会でも小学校が中学校の同一敷地内に移転するという事は合意しています。私が所属する総務経済常任委員会でも財政状況を踏まえたうえで、担当部署と議論をしました。直近の会議で最終的には執行部から提案された案の1を委員会としても合意を諮りました。今後は、我々が調査した内容を他の議員の方々にも説明し、共有できればと

今考えているところです。

我々の中でも、財政というところの観点から議論しました。今まで皆さんからあった財政の心配というところも、執行側に問いただしながら本当にこういった計画が実現することが可能なのか、というところも聞いてきました。そういった中で、やはり見積もりも一つ出てきております案の一の。しかしながら、やはり二つの施設の建設の見積もりであって、それに関連する施設の整備であったり、さらには先ほども言っていました庁舎が移転すれば、アクセス道路の整備がありますが、それは入っていないことがあります。さらには、健全財政を保ったまま実現していき、不安定の社会情勢や物価高騰も踏まえた中で、そういったことを総合的に考えれば、小学校の利活用というところは妥当な考え方というところも、委員会の意見でありました。

そういった健全財政に少しでも財政の余裕というか、そういったところをやはり申し上げたら確実に実現していく。やはり大事なのは、今後は小学校の規模ということですね。これも大事になってくるかと思えます。これも十分に検討する。さらには小学校、中学校の今後の教育の在り方、さらには校舎の利活用、いわゆる複合化というところを十分に効率的、効果的に実現を図って、将来に向けたまちづくりというところで、これも一つ重点を置きながら、先ほど出ましたけれども駅前のにぎわい作り、そういったいわゆる、浅川町に活力を生むような構想として、今後 10 年間に 2 つの基本構想というところを実現していただきたいというところでは、委員会で出た方向性がありますので、そういった意見が議員の中でも少しでも合意できるように協議を図りながら、執行部と一体となって取り組んでいければ、最終的に町民につながっていくという結論であります。

町長：はい、ありがとうございます。まとめていただいてありがとうございます。財政が大事です。財政状況を見ながら進めないと、町民に補助するお金が無くなってしまいます。そうすると町民は夢も希望もなくなってしまいます。そうならいようにまちづくりをしなければダメだということです。そういう中で先のことを考えれば、小学校造って浅川小学校跡地を利活用すれば、財政面は大丈夫だとなっています。

小学校移転は教育委員会の大きな仕事だと思っておりますので、どんどん早め早めにお話をさせていただきたいと思えます。

あと浅川町の将来を考えれば小さな町ですが、皆さんと相談しながら、一個一個やっていくのがベターだと思っております。今後、小学校を造るときにも、それなりに人を集めなくてはいけないと思っております。ぜひ、今後、皆さんのご協力をお願いしたいと思っております。次に●●委員さんのお話を聞きたいと思えます。

●●委員：町長さん委員さんの意見、お聞かせいただきありがとうございます。私としては、今、町長さんが言ったように、町の財政的な面の話もありますし、それから、将来の浅川町をどう作っていくかっていうまちづくりの面と、一番出ているのが子どもたちの学校環境っていうところだと思うんです。

まず、財政的な面からいうと、小学校が老朽化していて、いずれ現在のままでも全面的にリニューアルして、改修しなきゃいけないっていうのは、もう、目の前にせまっています。その改修するお金を例えば今回の複合施設にするときのお金に使えば、そういう使い

方もあるんじゃないかというふうに聞いていました。なので、小学校の基本はどうあれ、子どもたちの学校環境を考えれば、小学校、中学校は並んで、そこにまとめてあったほうが学習環境としてはいいのではないかというふうに思いますし、やっぱり子どもたちも安心して学べるというところを作るほうが大事なんじゃないかという話を聞いていまして、そこは皆さん同じような思いだと聞いていましたので、私も同じような思いをしました。

それと今度は、複合施設を改修で造るか新築で造るかという議論はこれから皆さんであると思うんですけども、私としては今あるものをどう長く使って上手に使うかというのは非常に大きなことだと思うんです。この資料にあります浅川町の人口は、このまま減っていくというような予想が出ていますし、いずれ財政規模が小さくなっていくだろうと思います。人口が減るだけ予算規模は小さくなっていきますから、町が動ける予算というのは、しっかり確保しておいた方が将来的に安心だと思うんです。なので、そういう意味で、その既存のものを上手に改修して使って、将来に備えておくという視点は大事だと思います。

その時に、新築時よく言うのですが、木造で造ったらいいでしょということと言われる方がいます。住宅と違って、庁舎は木造で造ったら鉄筋とか鉄骨より安くなるかという、決してそうではないんです。逆に高くつくことがあるんですよ。平屋だから安くなるということはないんです現実的には。必ずしも木造だから安くなるという考え方はしないほうがよくて、あともう一つは、木造だと耐用年数が鉄筋コンクリートよりぐっと短くなりますから、例えば40年とか45年とか短くなっちゃうんですよ。ところが鉄筋コンクリートで造ると80年って耐用年数になる。そういう面でも幅が違うんでちょっと木造にすればいいんだろうという議論は置いておいた方がいいと思います。

それともう一つ、全国の自治体の情報などを聞きますと、財政が厳しくなって、なかなか施設の維持管理にお金を回せないという声を聞く市町村もあるんですよ。例えば施設をどんどん造ってしまって、その維持管理コストに耐え切れなくなって、町の行政需要に投資するお金。いわゆる補助金とか住民の方の身の回りに使うお金がどんどん削られていくという自治体も現実的にあると聞いていますので、そういう面で町さんが今、財政規模を中心に考えるというのは非常にいいことだと思うんです。皆さんの事を考えながら施設を造っていくということを私は聞いて、そのとおりでなと思いました。

それにまちづくりという視点からすると道路の問題もありますけど、例えば今の小学校の周りに道路ありますよね。ただ若干狭い箇所があって、来る方にちょっと危ないんじゃないかという危惧もありますけど、使える事実はありますので、どういうふうに道路を拡張して、今後そこに訪れる住民の方々が安心して来れるかというのは段階的にできるので、まったく道路がないのではなく段階的にできるので、その心配を少しでも減らしていくという計画ができるんじゃないかなと思います。それは小学校校舎を新築しても既存を改修しても結果は同じです。なので、財政を考えながら、これから起こり得ることを考えながら施設計画を立てている小学校再利用の複合施設案は私としては一番妥当だと思います。

そこで資料の訂正をお願いしたいのですが、11ページの改築案になっていまして、作り直すという意味になります。旧校舎を再利用し役場・公民館機能の複合施設に改築となっています。改築は新しく作りますという意味なので、これは改修というのが提案の趣旨

になるのではないかと考えております。それと1ページ戻っていただいて、この表の中に南校舎新耐震と北校舎、体育館旧耐震なのでこれは解体されるのだらうと思います。その下、図書館の構造SRCとなっていますが、前の資料みるとS造となっています。これどっちなんだろうと思いました。多分S造の間違いじゃないかと思います。最後にもう一か所、14ページなお書きのところですが、今回の財政シミュレーションで想定した校舎再利用案は、もともと財政負担が少ない案になりますが、今後、施設構想をやると高くなると思いますが、これは再利用案ではなくても、新築案でも同じことなんですよね。だから再利用だけではなくて、例えば校舎敷地再利用案を含め、物価上昇で高くなりますよと説明したほうがこれ読んだ方は、再利用案でも新しく造られても物価は上昇するから、そこは置き換わりますという説明のほうがご理解いただけるかと思いました。

町長：はい。●●委員さん。ありがとうございます。指摘された箇所は訂正します。色々意見を言っていただき本当にありがとうございます。次、●●さん。よろしくお願ひします。

●●委員：小学校の新築と役場の複合施設がいいと思います。それと資料に財政の部分があります。いろんな町を見ましたが、財政的に今が良い時だっていう町はどこもなかったです。それで事業を実施するときは、問題があった時にはやるしかないと思います。その金が貯まるまで、財政が安定するまで待つというのは、じゃあいつまで待ってればいいんだとなる。ここの町の場合は一番の問題は決断できないところではないかと思ったんです。

結局、日本の市町村の財政っていうのは、それぞれの町の力によって税金が違います。だけど、それを地方交付税という制度でならしてしまふ。なので、どこの町も同じ事業ができる。最低限の事業ができる状態になる。例えば、小学校・中学校の統廃合ができたけど、ある町は未だに改善できていない。同じ金で、なんでできなかったのか。多分、そういう面では、いろいろ議論があったけども、結論を出せなかった。そうやって言われて、もう1年だけでこういう議論をやったので、あとは判断するだけです。せっかくここまで議論を尽くしたんだから、あとはやることを決断するだけの話だと思うんですよ。いろいろ確かに問題はありますけども、問題っていうのは、やろうと思えば解決するんです。いろいろ課題はありますけども、それを見て、それは解決できない問題ではない。やっぱり、決断するかの問題なんです。

今の議論、まず小学校が役場として使えそうだと、いろいろ歴史的な経緯もありますが、結局そのところに役場を移そうとすれば、今の小学校の機能をどうしたらいいのかという議論があるんです。それを中学校に持っていく話で案を作成しているので、問題があるとすれば、判断すれば動くんだと思うんです。あとは、複合施設をやろうとした時に、浅川小学校のところにやろうとしたら、基本構想、基本設計で2年かけて、その後、実施設計をやって工事して、令和12年くらいには竣工するかもしれない。それが補助とか何かと、何億かかるか分からないみたいなものをして、また先延ばしすると4、5年経ってしまうよね。設計には一年かけて、実施設計には一年かけて、とかって話じゃなくて、基本構想がきちんと固まっているのであれば、実施設計になっちゃう場合だってあ

る。やるんだったら今の体制で一気に仕上げないと、多分色々な問題が発生して先延ばしになった事例もあります。浅川町は先延ばしにした事案があると思っています。ここはもう早めに結論を出して、金の問題とか何かって言いますけども、家の家計と同じでやろうと思えば、ここまでやったら我慢しようみたいなことをしなと進まないと思います。

他のところでは、結構きつくやって整備した町もありますが、そういう苦勞をしているんですよね。浅川町は議論を先送りするよりは、ここで判断したほうがいいと思います。

町長：いろいろな意見が出ました。あと10年待った方がいいのではないか。あるいは基金が貯まってから、やった方がいいんじゃないか。そうすると10年以上くらい遅れてしまう。これは私が説得させる決断がなかったと思うんですよ。やはりこのままやったらダメだと。このまま進まなかったら間違いなく10年、15年できません。これは前に進まないといけないと思いました。私の強い決断が前に進めていくことだと思っています。

私が町長になって小学校、中学校生、あるいは高校生と話をする機会が多く、講話してくださいって人が来るんですよ。自分たちが、自分の夢が、やると思えば、汗をかけば、必ず夢と希望が叶いますよと言っているんですよ。やると思えば必ず私は実現すると思っておりますので、●●さんありがとうございました。

この決断をもって、議員さん、そして町民に納得していただけるよう今後、頑張ってもらいますので、一年間ありがとうございました。その他、意見がある方お願いいたします。

副町長：●●委員に質問があります。今回、リフォームするという事で、旧校舎の古い感じが残るイメージがあるかもしれないんですけど、それはお金の掛けようかもしれませんが、基本的にはリフォームすれば新築並みの形になるんじゃないかなと、または、元小学校という印象を持たなくてもいいんじゃないかなというところには、持っていけないかなと思うんですけど、どうでしょうか。

●●委員：はい、鉄筋コンクリートの部分は、これは新耐震で造られていると説明がありましたので、そこはまだまだ持ちます。住宅だとリフォームって言いますが、建物だと大規模改造とか大規模改修って言い方して、建物全体、壁から屋上の防水から中の間仕切りから天井からみんな変えます。なので、中を見ると本当に新しい環境になります。そして、学校にあるような廊下と教室の間の壁とかも無くすことができますので、開放的な部屋にすることは可能です。まして、この建物よりも天井が高いですから、そこは自由度が高くできますから、そこはご安心いただければと思います。

副町長：ありがとうございました。校舎のトイレを改修して部屋するのはどうかと意見がありました。

●●委員：そういうトイレを含め全部作り直すことになります。なので、トイレは新しく作りますし、校舎にある水道管も作り直します。当然電線も引き直します。最新の機器が入るので、今のある学校の設備を再利用することはないと思います。

総務課長：それでは次第の4番、その他に入らせていただきます。その他ですが、年度当初に公共施設最適化委員会ということで、委員の方々に色々な意見をお聞きいたしました。その集大成が本日の資料になります。今後、町としましては、この案に基づきまして来年度、なんらかの形で町民の方に周知をしまして、新年度に取り組みたいと考えております。今回、最適化委員会は終わりとなりますけれども、皆様も改めて資料を見ていただいて、先ほどの修正点もございましたけれども、今後、引き続き町に対して、いろいろな意見とか提案があればお聞かせいただきたいと思います。先ほど話がありましたけれども、こういう大きなプロジェクトが議題になったことがないのは事実です。そこは改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは、長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。これで、最適化委員会を閉じさせていただきます。1年間ありがとうございました。